

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより令和2年5月11日発行

中止のお知らせ



【5月13日(水)】東伯郡社会教育協議会総会

新型コロナウイルス感染症のため今年度の総会は中止し、書面決議となりました。

【5月16日(土)～17日(日)】中・四国・九州生涯教育実践研究交流会

新型コロナウイルス感染症のため、令和3年に延期となりました。

【6月予定】中部地区少年少女のつどい

新型コロナウイルス感染症のため、今年度の開催は中止とさせていただきます。来年度開催を目指し、魅力ある内容を企画中です。ぜひ楽しみに！



お知らせ！

～中学校卒業後の学校復帰や社会参加・自立を応援します～

鳥取県教育支援センター ハートフルスペース

- ・義務教育修了後の不登校(傾向)、ひきこもりの心配がある青少年を支援する教育支援センターです。
- ・東部にあるハートフルスペースに加え、今年度、中・西部地区にも新設しました。
- ・市町村教育委員会設置の教育支援センターや各学校と連携しながら、積極的に関わる訪問支援等を行い、学校復帰や社会参加を目指します。

電話相談

電話・FAX 0858-27-1255

携帯 080-2928-7423

月～金 9:00～15:00

(年末年始・土日祝日を除く)

※15:00～17:15は、下の番号におかけください。

0857-28-2322

いじめ・不登校総合対策センター

教育相談担当(東部ハートフルスペース)

中部ハートフルスペース案内



連携団体募集

〈家庭教育支援講座〉

当センターと連携して実施できる団体等を募集します！皆さまのところに伺って開催する(出前講座)です。学校・保育園・親子会・子ども会・子育て会等の行事として計画してみませんか？

魔法の板 「カプラ」で遊ぼう！

木製ブロック「カプラ」を使って、親子で創作活動を行い、集中力・創造力・協調性を養いながら親子のコミュニケーションを深めましょう！

〈講師〉カプラインストラクター

ひのさだゆき
日野 定幸氏

〈募集団体数〉東部・中部・西部 各1団体

〈申込期間〉令和2年4月8日(水)～
5月31日(日) 必着

※詳細は、ホームページに掲載の募集要項をご覧ください。下記にお問い合わせください。

「カプラ」ってなに？

たった1種類の板からイメージしたものが何でもつくれる、フランス生まれの不思議な小さな木製の板。

申込・問合せ先

鳥取県立生涯学習センター
(県民ふれあい会館) 〒680-0846 鳥取市扇町21番地
ホームページ <http://fureaikaikan.jp>

電話予約 TEL 0857-21-2266 FAX 0857-21-2267
E-mail info@fureaikaikan.jp

生涯学習 TEL 0857-21-2331 FAX 0857-21-2267
E-mail manabi@fureaikaikan.jp



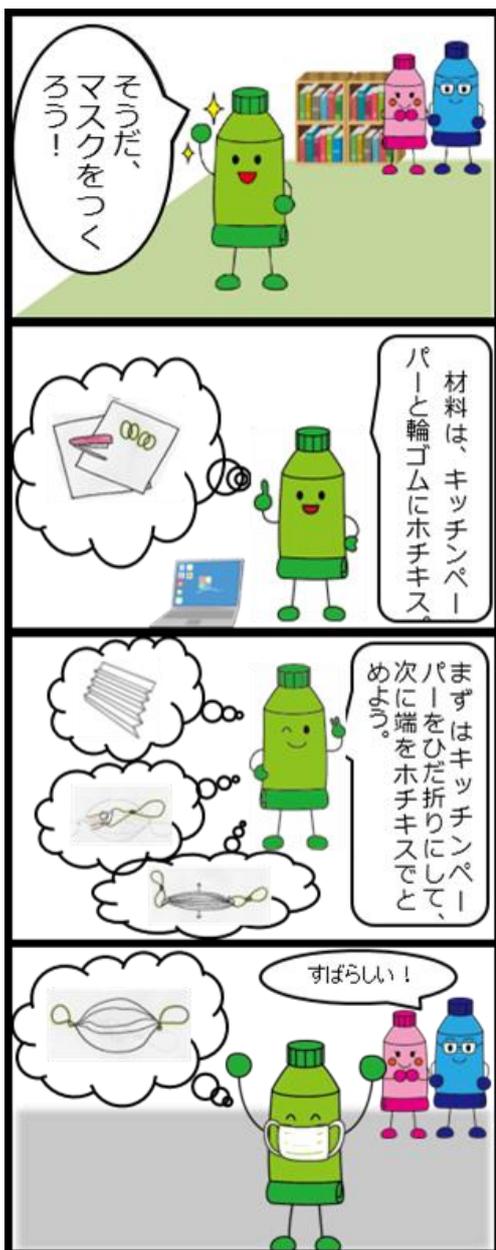
お家で 楽しもう!

アマビエも応援してます!



ちゅうぶくん

～マスクをつくろう～



～おうちで自然観察編～

<https://www.pref.tottori.lg.jp/ouchideshizenkansatu/>

1. イカを食べるときは吸盤を観察しよう!
2. おうちの石材シリーズ「花崗岩」
3. 貝の中に小さなカニ!
4. DIYの基本アイテム「茶色の紙やすり」は宝石がいっぱい!?
5. おうちの中でカメムシさがし
6. 窓を開けて自然の声を聞こう～イソヒヨドリ編～
7. 月と金星のランデブー!
8. タコのオスとメス



新型コロナウイルス感染症対策

人との接触を8割減らす、10のポイント

緊急事態宣言の中、誰もが感染するリスク、誰でも感染させるリスクがあります。新型コロナウイルス感染症から、あなたと身近な人の命を守るよう、日常生活を見直してみましょう。

1 ビデオ通話で オンライン帰省	2 スーパーは1人 または 少人数で すいている時間に	3 ジョギングは 少人数で 公園は すいた時間、 場所を選ぶ
4 待てる買い物は 通販で	5 飲み会は オンラインで	6 診療は 遠隔診療 定期受診は間隔を調整
7 筋トレやヨガは 自宅で動画を活用	8 飲食は 持ち帰り、 宅配も	9 仕事は 在宅勤務 通勤は医療・インフラ・ 物流など社会機能維持 のために
10 会話は マスクをつけて	3つの密を 避けましょう 1. 換気の悪い 密閉空間 2. 多数が集まる 密集場所 3. 間近で会話や発声をする 密接場面	
手洗い・ 咳エチケット・ 換気や、健康管理 も、同様に重要です。		

【あとがき】おる・出んウィークが終わりました。例年であれば、旅行にキャンプ、イベント等で疲れが一気に来るところでしょうが、今回は巣ごもり疲れ、かもしれません。どこにも行けない、楽しいことがないことで、ストレスがたまっただけかもしれません。中には、お家で家族が楽しめることを見つけた家庭も多かったかもしれません。これもある意味、大きな発見でしょう。できないことに目を向けるより、できることに目を向けることも大切です。

中部教育局 社会教育担当係長 徳永正樹

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail tokunagama@pref.tottori.lg.jp

